

何気ない投稿が自分と友達を傷つける

SNSトラブルから子どもを守る



いまや小・中学生のスマートフォンの保有率は年々上昇し、SNSは子どもたちの日常生活に深く浸透しています。LINEやInstagram、TikTokなどは大人と同様に、子どもたちにとっても「つながりの場」になっており、コミュニケーションの主流の一つとなっています。

しかし、その利便性の裏には、数多くのトラブルの火種が潜んでおり、学校においても深刻な課題として捉えています。しかし、SNSトラブルは学校外で起きることが多いため、表に出にくく、「見えにくさ」が最大の特徴です。学校が把握した時点では、すでに問題が深刻化していることが多いのが現状です。だから

からこそ、教職員は子どもたちの小さな変化や不安なサインに気づけるよう、登下校や休み時間の様子、友人関係の変化などに注意を払い、子どもが話しかけやすい雰囲気づくりを心がけています。SNSトラブルに関する事例を参考に、生徒・保護者・教職員の三者で未然防止の力をつけましょう。

1 SNSを介したトラブル事例

多く見られるトラブルの一つが“ネットいじめ”です。クラスや部活動内等でつくられたグループLINEにおいて、特定の児童生徒が無視されたり、陰口を言われたりする「SNS上の仲間はずれ」や「死ね」「キモい」などの強い言葉やスタンプが飛び交い、被害生徒が深刻な精神的苦痛を抱える例もあり、大きな社会問題になっています。



2 個人情報情報の漏えいトラブル事例

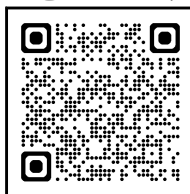
最近増えつつあるトラブルが“自撮り画像”の投稿がきっかけで、犯罪に巻き込まれるケースです。SNSに何気なく投稿した画像や卒業アルバムの写真をもとに、AIが裸に見えるように加工するといった性的ディープフェイク被害が急増しています。子どもたちの写真が、悪意ある第三者や同級生によって合成され、性的な画像として拡散されるニュースが後を絶えません。以前なら専門的な知識が必要だった画像加工が、今では誰でも無料アプリを使い、わずかな時間で“ありもしない裸の写真”を簡単に作れる時代です。その手軽さが、罪の意識を薄れさせ、遊びの延長上で行われることが問題を深刻化させています。

家庭と学校の連携が大切！

SNSに関するトラブルは学校だけでは対応することはできません。警察や関係機関と連携しながら解決できるよう最善を尽くしますが、一度インターネット上に配信された投稿は**100%の消去が不可能**であることを、今一度、再認識する必要があります。

スマートフォンやSNSは、これからの時代を生きる子どもたちにとって必要不可欠なものです。排除ではなく、**適切な関わり方を学ぶことが重要**です。そのためには、学校と家庭が手を取り合い、子どもたちが安全にデジタル社会を歩めるよう、私たち大人の責任ある対応が求められています。冬期間は、子どもたちが家にこもり、気持ちを発散する場面が減ります。その一枚の投稿が、誰かの尊厳を傷つけるかもしれない。その一度のクリックが、取り返しのつかない結果を生むかもしれない。こういった想像する力を子どもたちに伝えられるのは、私たち大人です。AIがどれほど進化しても、**人の心を守るのは人しかいません**。

学校が、子どもたちが安心して自分を表現できる場所であり続けるためには、まず、大人がデジタル社会を生きる責任を示す存在でありたいものです。



ふれあいコンサート



11月1日（土）に六合中学校の体育館を会場に「ふれあいコンサート」が開催されました。あいにくの大雨でしたが、啓北中の応援生徒や地域の方も含めて多くの観客が集まって楽しい演奏会になりました。

今年は、北鎮小学校、六合中学校、啓北中学校の3校の演奏会でしたが、ポップスやサンバ、クラシックなど演奏曲が幅広く、観客を楽しませようという各校の趣向が凝らされた素敵なコンサートでした。

働くことの本質を学ぶ

1年職業講話



1年生は先月の職場見学に引き続き、11月4日（月）に職業講話を行いました。5つの職業から講師を学校にお招きし、グループ別に分かれて話を聞きました。今回の講話では、実際に働く人から、主に職業選択の理由や職業のやりがい・魅力及び求められる資質・能力について学びました。

今、AIなどの技術革新やグローバル化が急激に進んでいる中、今まであった職業がなくなったり、新しい職業が生まれたりするなど、社会の変化が激しい時代です。中学1年生が社会に出て働く10年後には、更に社会が変化していることが予想されます。しかし、どんなに社会が変わっても、人が職業に就いて働くことは変わりません。今回の講話では、働くことの本質を学ぶ機会になったのではないのでしょうか。そして、今回の学びが毎日の授業とつながっていることに気づいてほしいです。



旭川医大（看護）



地域起こし協力隊



守田建設



JICA旭川デスク



コンピュータビジネス

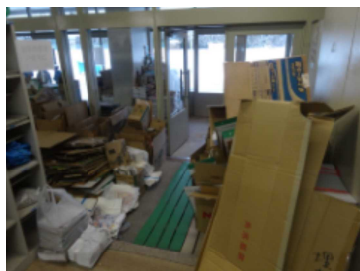
再生資源回収



三者懇談に併せて、ご家庭から資源回収の古紙等を学校まで持って来ていただきありがとうございました。ご協力に感謝いたします。

年々、物価高騰により、各部活動で使用する消耗品や遠征等に関わる経費が厳しい状況です。そのため、昨年度から部活動委員会主管で「資源回収」を行い、収益金を各部活動費補助や全道・全国につながる遠征費補助として利用させていただいています。

トラック等への荷積み作業は、男女テニス部・美術部を中心に、あつという間に片付きました。



●防犯カメラを設置しました



生徒玄関、職員玄関、体育館玄関に防犯カメラを設置しました。24時間録画対応の機能付きです。校内への不法侵入を抑止し、子どもたちの安全・安心を最優先にした学校づくりに努めます。

●体育館トイレ洋式化の工事中

本校は地域の『避難場所』に指定されています。旭川市では、災害に備えて体育館に避難してきた地域住民の方が、少しでも快適に過ごすことができるよう学校設備の整備を進めています。